



CPX600/900/1500/2000

POWER AMP

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

ご使用前に

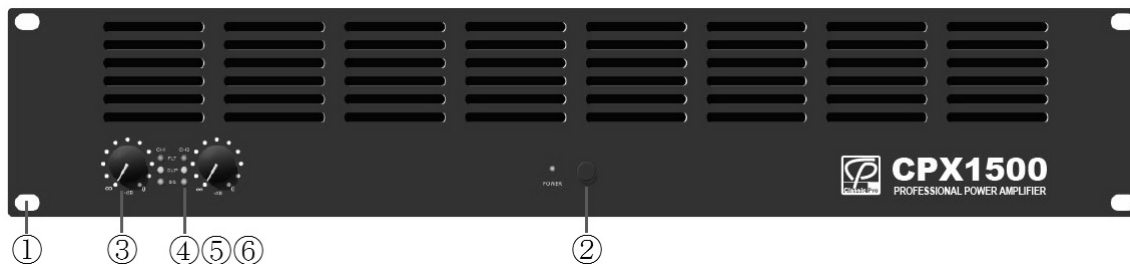
1. この取扱説明書に従って操作してください。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
3. 内部には精密な電子部品が多数使用されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにしてください。
4. 直射日光の当たる場所やストーブの前など、高温になりやすい場所への設置を避け、なるべく通気性の良い場所でご使用ください。
5. 斜め、逆さまの状態では設置しないでください。
6. 使用中に煙、異臭、ノイズが生じた場合、異物や水がアンプ内部へ侵入した場合は、すぐに電源を OFF にし、電源ケーブルを抜いてください。
7. 定格電圧 AC100V, 50/60Hz でご使用ください。
8. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様ご注意ください。
9. 長時間使用しない場合は電源コードをコンセントから抜いてください。

故障や感電事故を防止すると共に、本来の性能を維持する為にも、本体を開けて触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

特徴

- 洗練されたブラックパネル、2U ラックマウントデザイン
- アンプの温度上昇を抑える冷却効率が高いヒートシンク、速度可変式の冷却ファン
- 大電流を供給する大型トロイダルトランスフォーマー
- 優れた信号変換回路により、歪みを最小限に抑えたクリアなサウンド
- ステレオ、ブリッジ、パラレルモードに対応
- 各チャンネルに搭載されたシグナル、クリップインジケータ
- スピーカーを保護する内蔵リミッター、ON/OFF ミュート保護、DC 保護、出力ショートサーキット保護、オーバーヒート保護、RF(高周波)干渉保護
- 保護回路作動時、機材を保護する出力ミュート
- フロントパネルはゲインコントロールのみのシンプルデザイン
- より高い安定動作と信頼性を獲得した最新の SMD 技術を採用
- バランス XLR 入出力、スピコン出力
- エフェクトラックにも収納可能な奥行き 22.7cm

フロントパネル



1. マウンティング

19 インチ、2U ラックにマウント可能です。

2. 電源スイッチ

電源を入れる前にレベルが最小であることを確認してください。また電源ケーブルが AC 電源に接続されているか確認してください。電源 ON 時は青色 LED が点灯します。

3. レベルコントロール

出力レベルを調整します。

4. シグナル・インジケータ

SIGNAL LED は、音声信号が入力されている時に点灯します。

5. クリップ・インジケータ

各チャンネルへの信号がオーバーロードしてクリッピングが発生すると、CLIP インジケータが点灯します。

このままの状態では音声信号が歪んでしまいますので、接続している機材の出力レベルを下げ、過大入力を防いでください。

6. フォルト・インジケータ

オーバーヒートや DC 漏れなど保護回路作動時に点灯します。またパワーアンプの電源をオンにした際も、およそ 3 秒程、点灯します。その後、通常のオペレーティングモードに入ると消灯し、パワーアンプが使用できる状態になります。

リア・パネル



7. XLR 入出力

XLR 入力はバランス、アンバランスの入力信号に対応しています。各チャンネルの入力端子と出力端子は、並列に接続されており、XLR 端子に入力した信号を、外部アンプなどに送ることができます。

ピン 1 : GND、ピン 2 : +、ピン 3 : -

8. スピコン出力

スピコン端子のスピーカー出力です。スピコン端子のスピーカーケーブルを接続します。ステレオ/パラレル + : 1+、- : 1-、ブリッジ + : 1+、- : 2+

9. サーキットブレーカー

対応可能オーム数よりも低いインピーダンスで使用、または長時間連続使用によるオーバーロード時、サーキットブレーカーのボタンが飛び出します。その際、自動的に出力はミュートされ、アンプを保護します。復旧するためには、問題が解決されたことを確認後、サーキットブレーカーボタンを押します。

10. ステレオ/ブリッジ/パラレル切替スイッチ

このスイッチにより、ステレオ、ブリッジ、パラレルモードの切り替えを行います。
ステレオ : CH1 に入力した信号は、CH1 から出力、CH2 に入力した信号は、CH2 から出力
ブリッジ : CH1 に入力した信号を CH1 (1+、2+) から出力
パラレル : CH1 に入力した信号を、CH1 と CH2 から出力

11. 感度切替スイッチ

0.775V、1.4V で入力感度の切り替えをします。

12. AC 電源

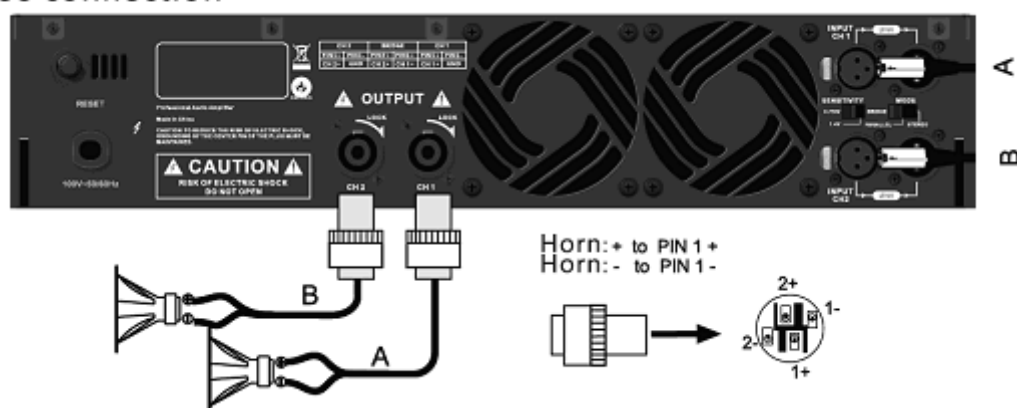
100V 50/60Hz で動作します。

オペレーティング

1. ステレオ・モード

まず音源ソースの入力端子をアンプのチャンネル1、およびチャンネル2に接続してください。次にアンプ背面にある出力端子にスピーカーを接続します。この時、フロントパネル上にあるゲイン・コントロールが最小レベルまで下げられているのを確認してください（最も左回りの状態）。アンプの電源を入れます。次に入力ソースの出力レベルを上げます。フロントパネル上にあるゲイン・コントロールを使い、出力音量を調節します。出力音量は、クリッピングが発生しない程度に上げてください。

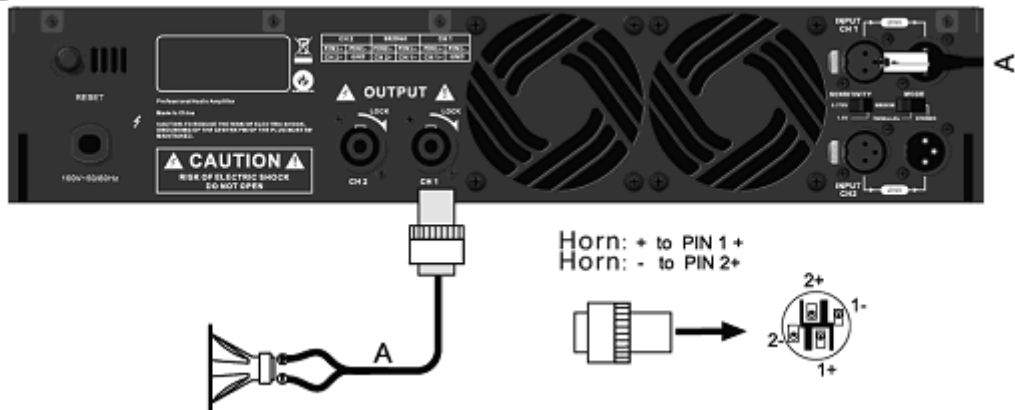
Stereo connection



2. ブリッジ・モード

設定の前にアンプを含め、すべての音響機材の電源が **OFF** であることを確認してください。ステレオ/ブリッジ/パラレル切替スイッチをブリッジに切替えます。次に入力信号をチャンネル1に接続してください。次にアンプ背面に配置された、チャンネル1のスピコン端子にスピーカーを接続します。次に音響機材の電源を **ON** にしてください（アンプの電源は最後に入れるようにしてください）。アンプに入力ソースの信号を送信します。アンプの出力レベルを調節するには、チャンネル1のゲインを操作してください。ブリッジ・モードで使用した場合、出力端子の電圧は全体で 100V 以上に達し、場合により、それ以上の高電圧になることもあります。よって配線は、完全に絶縁されたスピーカーケーブルをご使用ください。またスピーカーのインピーダンスは 8Ω 以上になるようにしてください。

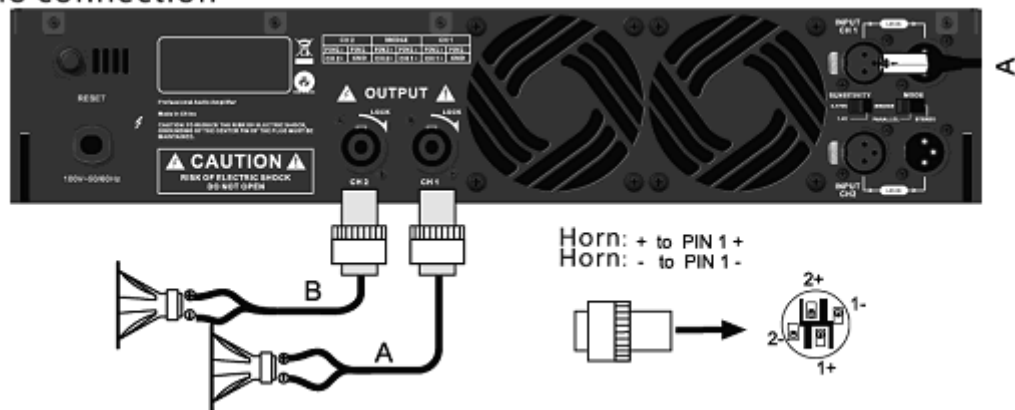
Bridge connection



3. パラレル・モード

設定の前にアンプを含め、すべての音響機材の電源が OFF であることを確認してください。ステレオ/ブリッジ/パラレル切替スイッチをパラレルに切替えます。次に入力信号をチャンネル 1 に接続してください。次にアンプ背面に配置された、スピコン端子にスピーカーを接続します。次に音響機材の電源を ON にしてください(アンプの電源は最後に入れるようにしてください)。アンプの電源を入れます。次に入力ソースの出力レベルを上げます。出力音量はフロントパネル上にあるゲイン・コントロールにより、チャンネルごとに調整可能です。

Mono connection



セットアップ

1. 入力端子

CPX シリーズは1チャンネルにつき、XLR バランス入力コネクタと出力コネクタが1つずつ装備されています。ミキサーやチャンネルデバイダー等の出力端子と入力端子を接続します。それぞれの出力端子は入力端子と並列に接続され、外部機器への出力用端子として使用する事ができます。

使用例：XLR ケーブルをチャンネル1入力に接続します。チャンネル1出力端子に接続したケーブルを、他のアンプの入力端子に繋いでパラレル接続をすることができます。

2. 出力端子

アンプ背面にあるスピコン出力端子に、スピーカーを接続します。ステレオ、パラレルモードの場合、チャンネル1およびチャンネル2出力端子に接続します。ブリッジ・モードの場合、チャンネル1のスピコン出力端子のみを使用し、スピーカーのプラス・リードをスピコンの1+、マイナス・リードを2+に結線して接続してください。正しい極性設定はスピーカーの位相不一致を防ぎ、結果として低音が損なわれることを防止します。

製品スペック

		CPX600	CPX900	CPX1500	CPX2000
定格出力 1kHz (HIA) 0.5%THD	4Ω ステレオ	300W	450W	750W	990W
	8Ω ステレオ	200W	350W	500W	700W
	8Ω ブリッジ	600W	900W	1500W	1980W
周波数特性(@1W)		20Hz-20kHz、+0-1db			
全高調波歪み (THD)		<0.5%、20Hz-20kHz			
スルーレート		>20V/us			
電圧ゲイン		29dB	31dB	33dB	34dB
ダンピングファクター(8Ω)		>200			
SN比 (20Hz-20kHz、A-weighted)		>100dB			
クロストーク		-75dB@1kHz、-58dB@20kHz			
入力感度		0.775V、または1.4V			
保護回路		リミッター、ON/OFF ミュート保護、 出力ショートサーキット保護、DC 保護 オーバーヒート保護、RF(高周波)干渉保護			
換気		前面から背面			
冷却		内蔵ヒートシンク、可変式ファン、熱保護			
寸法		W48.2 x D22.7 x H8.8 cm			
重量		11.4kg	12.7kg	13.5kg	14.5kg

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。